

経営発達支援計画  
H29年度 伴走型小規模事業者支援推進事業

# 地域経済動向調査レポート

～京丹後市版～

(平成29年1月～3月期調査)

京丹後市商工会

## ～全項目で改善が見られるも、業種による格差が広がる小規模企業景況～

### <調査概要>

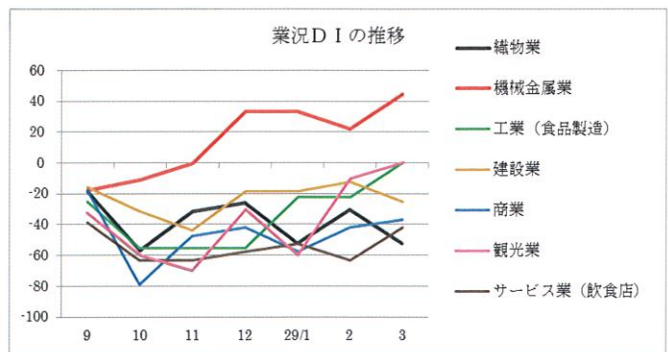
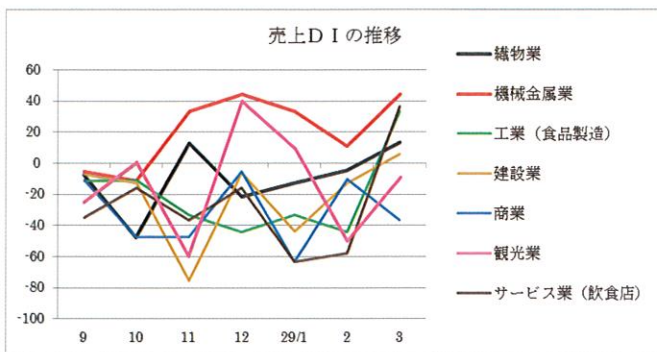
調査対象：地域内の小規模事業者等105件

調査期間：2017年1月～3月

調査方法：当商工会経営支援員による巡回ヒアリングによる調査票への選択記入式

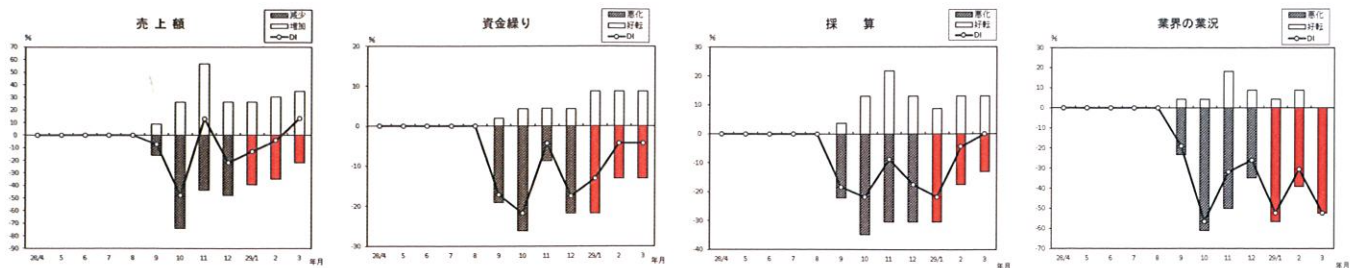
### <産業全体> …全項目で改善がみられるも、業種による格差が広がる小規模企業景況…

1月～3月期の小規模企業景気動向調査は、前期(H28.10～12月)と比較して全ての項目(平均値)において改善が見られた。売上DIは、織物業、機械金属業、工業、建設業が改善。業況DIは織物業以外の全ての業種で改善が見られ、中でも機械金属業、観光業、工業は、10ポイント以上の大きな改善が見られ、業種によって持ち直しの気配があるが、経営支援員からは業種に関係なく人手不足が継続し、原材料価格の高騰が要因となって採算に影響を及ぼしていると指摘する報告が多く挙げられ、来四半期においてもますます業種間による格差が広がっていくと見通す。



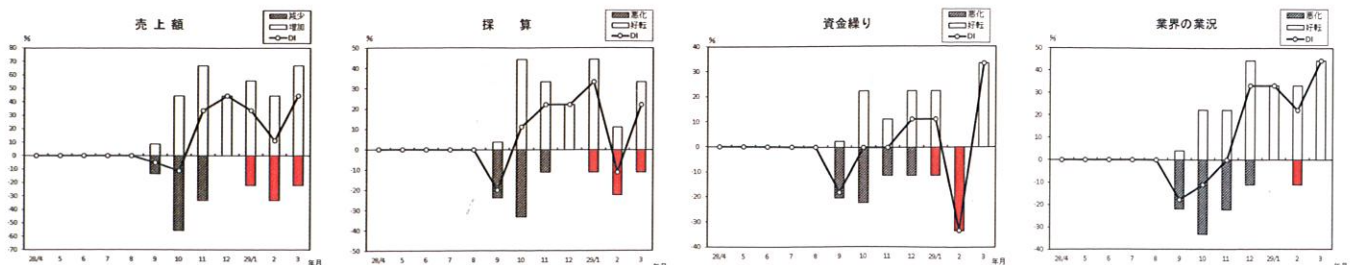
### 織物業 売上及び採算DIが改善も依然先行き不透明な織物業

織物業の売上DI、採算DI、資金繰りDIは、前期とは一転回復傾向となり、売上DIに関しては、前期平均値比較より、2桁改善を示した。しかし、業況DIは2桁悪化を示し、依然先行きが不透明感が拭えない。経営支援員からは、帯地に関する発注量が減少し、今後、厳しい見通しとの意見がある一方、施策活用等で生産体制を強化(設備投資)の動きが活発化してきているとの報告も多く見られた。



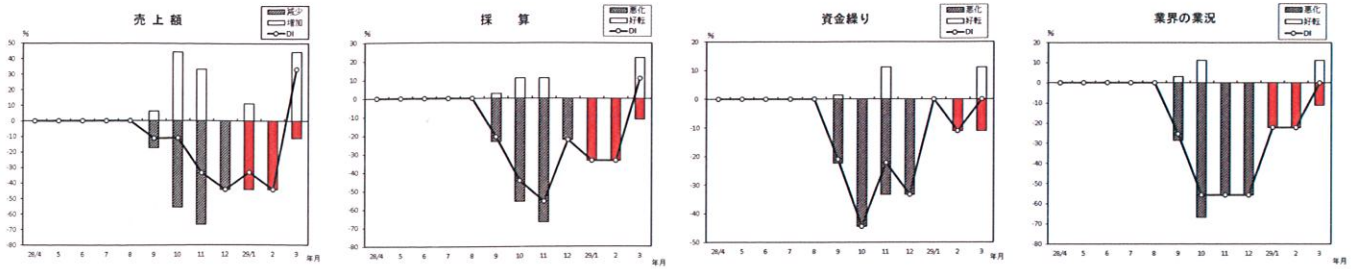
### 機械金属業 引き続き、好調をキープする見通しも、予断を許さない状況の機械金属業

機械金属業の業況DIは、好調をキープし続け、前期平均値比較ではプラス25.9と大幅改善を示す。項目別においては、全ての項目において2月に一時落ち込むも、3月には持ち直した。しかし、採算DIは前期平均値と比べ3.7ポイント悪化した。経営支援員からは、半導体、自動車、建築関連の仕事が好調である一方、人手不足と原料高が続いているため、利益を圧迫しかねないとの報告があった。また、海外での市場動向を懸念するコメントも多く見られた。



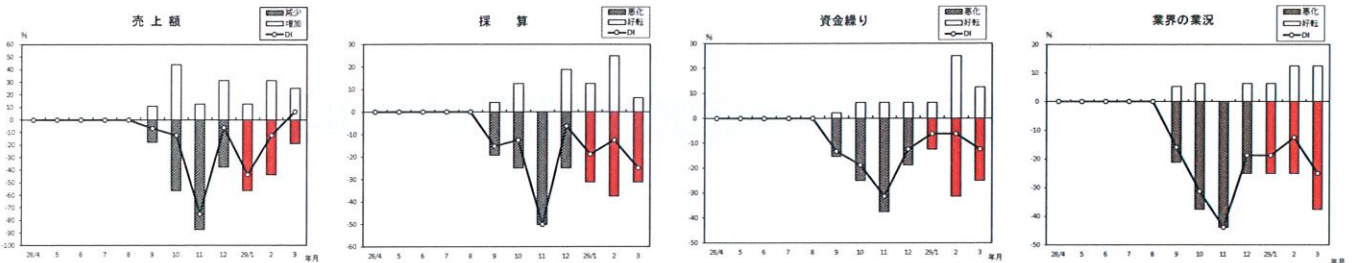
## 工業(食品製造) 一時的な改善が見られるものの、依然として展望が見いだせない工業(食品製造)

工業(食品製造)の業況のD Iは、悪化水準から一転改善傾向となり、前期平均値比較ではプラス40.8と大きく改善した。項目別では、全項目で3月に改善を示した。特に、売上及び採算D Iが大きな改善を見せた。要因としては2月の悪天候により一般消費者等の客足が鈍った反動が3月に現れた一時的な改善と考えられ、経営支援員からは、お土産品製造業の仕事が活発になっているとの報告がある一方で、原材料の高騰が続いているため、利益を圧迫しているとの報告があった。



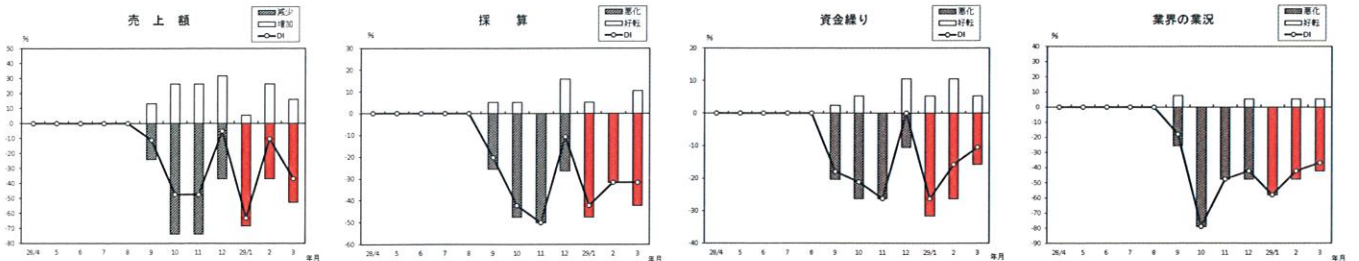
## 建設業 売上D Iが改善を示すも、採算・資金繰りが改善しない建設業

建設業の業況D Iは、前期平均値比較では改善されるも、12月に悪化傾向に転じた。項目別では、売上D Iは大きな改善を示したが、採算・資金繰りD Iは共に悪化となった。年度末による公共工事の発注増や除雪需要が発生した為、売上額が増加するも、受注単価の低下や建設資材の上昇、慢性的な人手不足が重なり、利益の確保ができないとの報告があった。好材料としては、型枠工の積算単価アップや、本年度において建築土木関連の公共工事が発注増といった報告があった。



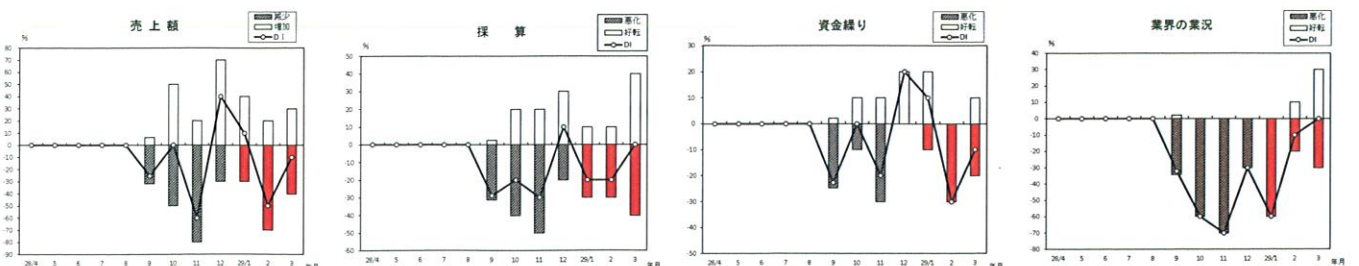
## 商業 大型店やチェーン店等の影響や高齢化による需要の低迷で深刻さ深まる商業

商業の業況D Iは、小幅な改善となったが、項目別に前期平均値比較でみると、売上D Iは▲3.5、採算D Iは▲0.9、資金繰りD Iは▲1.7と何れも小幅悪化を示した。経営支援員からは大型店やチェーン店等の影響について言及するコメントが目立ち、消費者人口の減少や節約志向に加え、高齢化による個人消費の低迷により、景況感の回復は感じられないとの報告があった。



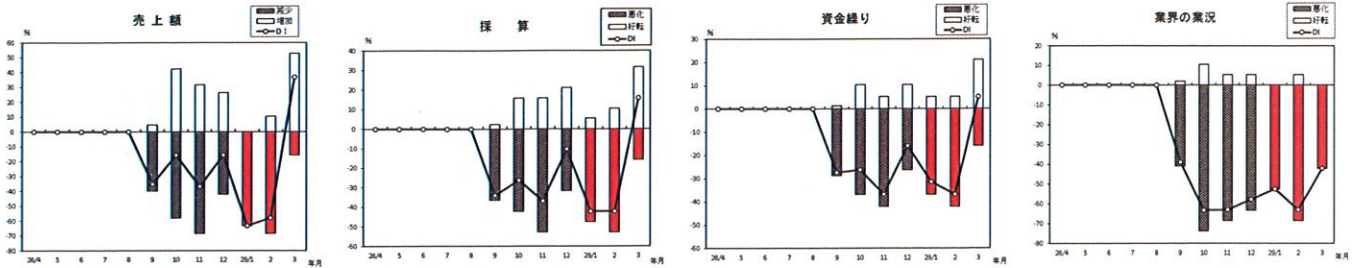
## 観光業 積極的な誘客により高まりが感じられるも対策有無等で格差広がる宿泊業

観光業の業況D Iは、観光シーズン中ということもあり、改善傾向をキープし、前期平均値比較においても30.0ポイント改善を示した。しかし、売上D Iと資金繰りD Iは▲10.0となり、採算D Iは横ばいであった。降雪による予約キャンセルや蟹の仕入単価が大きく影響し、月よっての乱高下が激しい。経営支援員からは、遠方からの日帰り客増に伴う飲食関連売上が上昇してきており、宿泊に繋げる対策が活発化してきている一方で、4月以降の宿泊予約は鈍いとの報告があった。



## サービス業 わずかな改善基調が見られるも回復の兆し見えないサービス業(飲食店)

サービス業の業況D Iは、12月にわずかな改善を示し、前期平均値比較においても小幅改善であった。項目別では、売上、採算、資金繰りD Iの何れも12月に大きな改善を示すが、前期平均値比較において、売上D Iは小幅悪化、採算、資金繰りD Iは共にわずかな改善を示した。経営支援員からは、店舗毎の集客対策や工夫が活発化し、年度末の宴会売上等を中心に好調であったとの一方で、天候による影響や、消費者の節約傾向の高まり等で、依然回復の兆しが見えないとの報告があった。



## 労働環境面調査

### <調査概要>

調査対象: 地域内の小規模事業者等105件

調査項目: 従業員の平均年齢及び年間平均賞与額

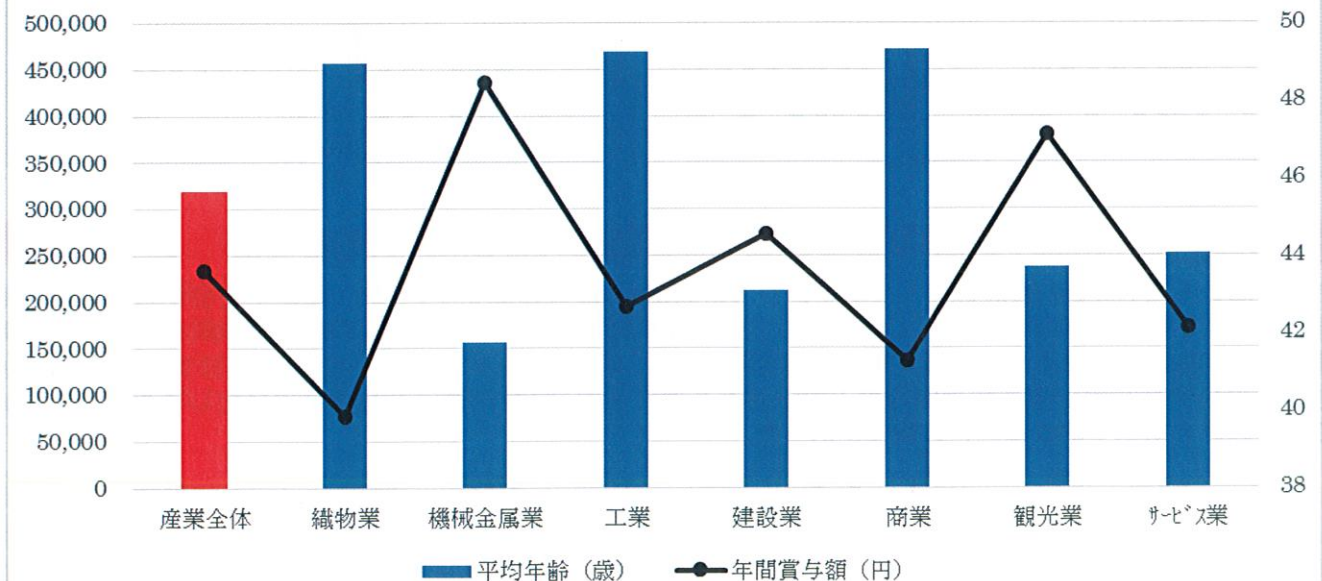
対象期間: 2016年1月～12月

調査方法: 当商工会経営支援員による巡回ヒアリングによる調査

有効回答数: 従業員の平均年齢57社、年間平均賞与額51社

業種	平均年齢(歳)	年間平均賞与額(円)
産業全体	45.64	233,086
織物業	48.97	77,500
機械金属業	41.77	435,963
工業(食品製造)	49.25	194,333
建設業	43.10	273,333
商業	49.31	136,667
観光業	43.70	380,179
サービス業(飲食店)	44.05	172,222

業種別従業員平均年齢・平均年間賞与比較グラフ



京丹後市商工会 経営支援課